

作成日 2023/08/09  
改訂日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 シリコングリースM 高温用  
会社名 株式会社MonotaRO  
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階  
担当者名 商品お問合せ窓口  
電話番号 0120-443-509  
FAX番号 0120-289-888  
緊急連絡先 所在地と同じ  
推奨用途 グリース  
整理番号 M240215

### 2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分4  
急性毒性(経皮) 区分3  
急性毒性(吸入:蒸気) 区分4  
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

#### GHSラベル要素

##### 絵表示



注意喚起語 危険  
危険有害性情報 H302+H332 飲み込んだ場合や吸入した場合は有害  
H311 皮膚に接触すると有毒

##### 注意書き

###### 安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261)  
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)  
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)

###### 安全対策

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

##### 応急措置

飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P301+P312)  
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)  
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)  
口をすすぐこと。(P330)  
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P361+P364)

##### 保管

施錠して保管すること。(P405)

##### 廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	

ジメチルポリシロキサン	90.0～95.0%	不明	(7)-476	不明	63148-62-9
非晶質シリカ	6.0～11.0%	不明	(1)-548	不明	68611-44-9
酸化プロピレン	<0.50%	C3H6O	(2)-219	既存	75-56-9

#### 4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

付着した製品を除去し、直ちに水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

少量でも眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。  
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状及び  
遅発性症状

特にない

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

#### 5. 火災時の措置

消火剤

泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、水噴霧

使ってはならない消火剤

情報ない

特有の危険有害性

火災或いは非常な高温状態下で、本製品は、一酸化炭素、不完全燃焼炭化物、二酸化ケイ素などの有害分解物を放出することがある。  
150℃以上で大気中の酸素の存在でホルムアルデヒドを生成する。

特有の消火方法

水噴霧で火災に曝露した容器を冷却を継続する。

消火を行う者の保護

自給式呼吸保護具と全身保護装置を着用すること。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具(「8. 暴露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品および洗浄で用いたものの環境中への流出を避ける。

回収、中和、封じ込め、  
および浄化の方法

廃棄するために、ふき取る或いはすくい取って回収する。  
シリコン化合物は少量でもスリップする危険性があるため、漏洩したエリアを洗浄する。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

7. 取扱い及び保管上の注意  
取扱い

技術的対策 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項 「8. 暴露防止及び保護措置」を参照

保管

技術的対策 出来れば局所排気装置等を設ける。

混触禁止物質 情報なし

保管条件 室温で保管する、18～29℃での保管が望ましい。

容器包装材料 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
酸化プロピレン	2ppm	未設定	TWA 2 ppm, STEL -
ジメチルポリシロキサン	未設定	未設定	未設定
非晶質シリカ	未設定	未設定	未設定

保護具 呼吸器の保護具 吸入するおそれがある場合、呼吸用保護具を着用する。

手の保護具 必要に応じて保護手袋を着用する。

眼の保護具 保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具 必要に応じて保護委、保護エプロン等を着用する。

設備対策 適切な全体排気設備および局所排気設備を用いる。

衛生対策 取扱い後はよく手を洗うこと。  
取扱い場所の近くでの飲食、喫煙の禁止。  
汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
形状	ペースト
色	半透明
臭い	無臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点	データなし
燃焼範囲	
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界	データなし
燃焼限界	
	下限
	上限
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	適応しない
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数	データなし

蒸気圧  
密度及び／又は相対密度  
相対ガス密度  
粒子特性  
その他のデータ

データなし  
比重: >1  
揮発成分: <1  
データなし  
データなし

10. 安定性及び反応性

反応性  
化学的安定性  
危険有害反応可能性  
避けるべき条件  
混触危険物質  
危険有害な分解生成物

情報なし  
安定である  
危険有害な重合反応は起こさない  
情報なし  
情報なし  
燃焼或いは非常に高温な状態下で、一酸化炭素、二酸化炭素、ホルムアルデヒド、二酸化ケイ素などの有害分解物を発生する。

11. 有害性情報

急性毒性

経口  
経皮  
吸入

急性毒性推定値が520mg/kgのため区分4とした。  
急性毒性推定値が950mg/kgのため区分3とした。  
(気体)  
GHS定義による気体ではない。  
(蒸気)  
急性毒性推定値が4000ppmのため区分4とした。  
(粉じん・ミスト)

皮膚腐食性／皮膚刺激性

データ不足のため分類できない。  
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。  
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

眼に対する重篤な損傷性  
／眼刺激性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。  
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

呼吸器感作性  
皮膚感作性

データ不足のため分類できない。  
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。  
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生殖細胞変異原性

※区分1は0.49%含まれる。  
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。  
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

発がん性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。  
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。  
※区分2は0.49%含まれる。

生殖毒性

(生殖毒性)  
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。  
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。  
※区分2は0.49%含まれる。  
(生殖毒性・授乳影響)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データ不足のため分類できない。  
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)		毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
誤えん有害性		データ不足のため分類できない。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性 短期(急性)		動粘性率が不明のため、分類できないとした。
水生環境有害性 長期(慢性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0.49%のため、区分に該当しないとした。
生態毒性		毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
残留性・分解性		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。
生体蓄積性		毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
土壤中の移動性		データなし
オゾン層への有害性		データなし
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		データなし
		データ不足のため分類できない。
汚染容器及び包装		廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
		容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意		
国際規制	国連番号	該当しない
	航空輸送	該当しない
	海上輸送	該当しない
国内規制	陸上規制	消防法の規定に従う。
	航空規制	該当しない
	海上規制	該当しない
特別の安全対策		輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、崩れの防止を確実に 行う。 容器に衝撃を加えたり、引きずる等の乱暴な取扱いをせず、転倒、落下、破損しないように積載する。
15. 適用法令		
労働安全衛生法		作業環境評価基準(法第65条の2第1項) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

酸化プロピレン(政令番号:194)(5%未満)

労働安全衛生法(令和6年4月1日以降)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)  
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9)

毒物及び劇物取締法  
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)  
消防法  
大気汚染防止法

酸化プロピレン(政令番号:194)(5%未満)  
非該当  
非該当

海洋汚染防止法  
外国為替及び外国貿易法  
特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)

非危険物  
有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中央環境審議会第9次答申)  
揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)  
有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)  
輸出貿易管理令別表第1の16の項  
特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)

16. その他の情報  
参考文献

JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法  
JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)  
経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス  
日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。